

(公財) 地震予知総合研究振興会
長岡平野西縁断層帯の活動性評価に関する研究委員会 (第29回)

概要報告

1. 日 時 2024年10月8日 (火) 13:30~16:30

2. 出席者

主査	東北大学	名誉教授	長谷川 昭
委員	東京大学	名誉教授	岩崎 貴哉
	東北大学	教授	岡田 知己
	東京大学地震研究所	教授	小原 一成
	地震予知総合研究振興会	会長	金沢 敏彦
	名古屋大学	教授	鷺谷 威
	東京大学	名誉教授	平田 直
	産業技術総合研究所	グループ長	丸山 正
事務局	(公財) 地震予知総合研究振興会		

(敬称略)

3. 議題

- (1) 2024 年前半の活動報告等
- (2) 山形から能登半島における三次元地震波速度構造と地震発生層
- (3) 日本列島内陸の低周波地震震源域とその周辺で発生する微小地震の波動特性

4. 委員会の状況

2024年前半の活動報告として①地震活動状況等について、②GNSS観測結果等について説明があったのち、地震波速度構造の検討、微小地震の波動特性に関する検討について話題提供があった。

(1) 2024年前半の活動報告等

2024年前半の活動報告が行われた。

- ① 本検討で整備した稠密地震観測網（AN-net）の維持管理状況および地震活動状況の説明が行われ、委員会では、長岡平野周辺の震源分布および令和6年能登半島地震の観測記録等について意見交換が行われた。
- ② GNSS観測結果等について、長岡平野周辺の地殻変動状況、観測データの解析手法等について説明が行われ、委員会では、ひずみ速度分布や能登半島地震に伴う地殻変動について意見交換が行われた。

(2) 山形から能登半島における三次元地震波速度構造と地震発生層

長岡平野周辺を含む山形県沖から能登半島までの日本海沿岸部を対象として、陸域、海域の地震記録と海域反射法探査を用いた地震波速度構造の検討について紹介された。委員会では、令和6年能登半島周辺の調査結果について意見交換が行われた。

(3) 日本列島内陸の低周波地震震源域とその周辺で発生する微小地震の波動特性

国内で発生した地震を対象に地震の震源域とその地域における微小地震の周波数特性との関係について紹介された。委員会では、微小地震と流体の分布について意見交換が行われた。

以 上